

“いま”を知る。“これから”を考える。

な
か
や
ま



議会だより



P2 **特集** 追跡レポート『**検討**します』を**検証**する

P12 議会活動報告 公共施設再配置特別委員会を議会で設置

家族に会えて、ホッとしたね
(合同引き渡し訓練 長崎小学校)
⇒関連記事P 3、14



中山町議会



追跡レポート



『検討します』を検証する

議会における答弁でよく使われる便利な言葉「検討します」。その後どうなっているのか。対応・改善はなされたのか。ここで検証します。

令和6年6月議会定例会

一般質問

議会だより No.30 掲載



公共施設再配置のための 積み立ては

質問 公共施設の再配置に向けて基金積み立てを開始する考えはあるのか。

答弁 令和6年度中に検討したい。

現状 令和7年3月定例会において基金設置条例を設定し、基金への積み立てを始めています。基金積立額は、表のとおりで、令和8年3月末で8100万円となっています。

予算計上時期	予算額
令和7年度 (当初予算)	3000万円
令和7年度 (補正予算(第1号))	2100万円
令和7年度 (補正予算(第8号))	3000万円
合 計	8100万円

令和6年9月議会定例会

一般質問

議会だより No.31 掲載



西部地区の 水防対策について

質問 最上堰は、農業用水の利水施設で常に大量の水を供給しているが、大雨になると一気に増水し、水害が心配される。実際、最上堰の溢水により作業小屋が被害に遭い、通学路が冠水し危険な状態が生じている。最上堰の水防対策をどのように考えているのか。

答弁 最上堰土地改良区とこれまで以上に大雨への連携した対策を進めていく。

現状 令和7年12月、最上堰土地改良区による溢水箇所のかさ上げ工事が完成しました。



上：令和6年7月の大雨
下：令和7年12月

令和6年9月議会定例会

一般質問

議会だより No.31 掲載



令和7年度の旧柏倉家 住宅利活用について

質問 令和6年7月に「県への要望書」が提出され、その中に重点要望事項として「旧柏倉家住宅の利活用について」とあるが、どのような利活用を検討しているのか。

答弁 利活用策の一つとして、屋敷周りの黒塀を復元し囲うことで、防犯管理体制を強化するとともに、当該住宅の裏山の竹林道を散策コースとして開放できないか検討する。

現状 黒塀復元工事は、令和7年度当初予算で2345万円を計上。その後、令和8年度への繰越事業となり、4月末に工事が完了

しています。散策コースは開放していますが、野生動物の出没があるため、散策する際は注意をお願いします。



令和7年6月議会定例会

一般質問

議会だより No.34 掲載



合同引き渡し訓練実施 と対応基準の周知を

質問 複数施設による合同引き渡し訓練実施と、対応基準の周知を求める。

答弁 合同訓練の必要性を協議、研究する。引き渡しを含めた対応基準等を整理し、周知方法を考え実施する。

現状 令和8年6月19日午後、中山中学校と長崎・豊田両小学校合同での引き渡し訓練を初めて実施しました。兄弟のいる家庭は中学校・小学校の動線で、各校に合った方法で行いました。対応基準の周知は、今後実施したいと考えています。



長崎小学校の保護者受付



中山中学校教室で引き渡し

令和7年12月議会定例会

一般質問

議会だより No.36 掲載



防災資機材の 貸し出し開始

質問 町が防災用等に保有する資機材を住民や団体に貸し出しできないか。

答弁 資機材ごとの特性等を踏まえ、貸し出し可能な資機材の選定を進めるとともに、必要な例規の整備に向け検討している。

現状 貸し出し可能な資機材の選定、例規を整備し、令和8年4月に区長連絡協議会、小中学校等に周知しています。また、5月に開催された長崎小学校の運動会では、ワンタッチテントを貸し出しました。

資機材名	貸与数	貸与期間
ワンタッチテント	2張	7日間まで
LED蛍光灯	3台	7日間まで
ポータブル電源	2台	7日間まで
ドラムリール	2台	7日間まで
二重バーナーコンロ	2台	7日間まで
ガス炊飯器	2台	7日間まで
LPガス容器	1基	7日間まで



熱中症対策に活用されました

まとめ

「検討します」の結果として、成果のあったものを掲載しました。中には、難しい案件やなかなか進まないものもあるようですが、大事なことは、担当する課だけでなく、関係する他の課や団体も一緒になって話し合いを行うことです。今後も積極的な協議や対応を期待するとともに、議会としても問題解決に向け、議論・協力していきます。

令和8年度一般会計補正予算(第1号)

6月定例会で1回目の予算の見直しを行いました。その結果、歳入歳出予算をそれぞれ7970万円増額し、総額で62億7970万円とするものです。見直しの主な内容は次のとおりです。

地区の要望に応え、公民館の改修工事に補助

歳出増額 281万9000円

自治公民館等建設整備費補助金として、①南小路公民館、②北小路公民館、③上町コミュニティセンター、④旭町公民館、⑤土橋公民館における修繕事業に対する補助金交付のため、新たに予算を計上するものです。

	事業内容	補助申請額
①	屋根塗装工事	35万7000円
②	トイレ改修工事	66万円
③	トイレ改修工事	44万2000円
④	照明器具LED化工事	46万9000円
⑤	廊下天井、調理室改装工事	89万1000円

主幹産業である農業の支援事業に大幅な補正予算を計上

・産地生産基盤パワーアップ事業補助金 5745万7000円

複数の農業者で1つの産地を形成し、生産拡大等の事業に取り組むため必要な資機材等の導入を支援する新たな予算を計上するものです。

・持続できる果樹産地緊急支援事業費補助金 245万6000円

果樹農家の経営継続を目的に、スピードスプレーヤー更新費用を支援するため、新たに予算を計上するものです。

・地域農業構造転換支援事業費補助金 1005万9000円

農地の耕作を引き受ける担い手の経営改善に必要な農業用機械・施設の導入を支援するため、新たに予算を計上するものです。



果樹園の薬剤散布などに使用するスピードスプレーヤー

部活動の地域展開を支援

歳入増額 190万8000円 歳出増額 55万8000円

休日の地域クラブ活動費等を支援するために国や県の補助金（補助率 国と県それぞれ3分の1）が創設されたことにより、新たに歳入予算を計上するものです。また、これに合わせて、当初予算で計上していた町から団体へ支援する認定地域クラブ活動費補助金を増額するものです。

令和8年 中山町議会 6月定例会 日程表

期 日	会 議	備 考
6月10日(水)	本 会 議 (全員協議会) (総務文教常任委員会)	一般質問 議第30号～32号 各件毎提案理由の説明、 質疑、討論、採決 報告、請願 1 件 紹介議員の説明
6月11日(木)	休 会	(議案調査)
6月12日(金)	本 会 議 (公共施設再配置特別委員会) (全員協議会) (議会活性化特別委員会第1小委員会) (同第2小委員会)	請願 1 件 委員長報告、質疑、討論、採決 議第33号～38号 各件毎提案理由の説明、 質疑、討論、採決 選挙（山形広域環境事務組合議会議員） 議員派遣

6月定例会が開催されました

6月定例会が、6月10日から12日までの会期で開催されました。

提出された議案は、専決処分3件、補正予算3件、公共施設再配置計画基本構想の策定、財産の取得などの計9件で、すべて原案のとおり承認・可決されました。

その議案に私は賛成、私は反対

6月定例会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊗欠席 退席

議案番号	議案名と主な内容	1 村山 隆	2 須貝 勝司	3 田宮 昌幸	4 夢田 慎二	5 斎藤 眞一	6 鈴木 徹雄	7 渡辺 博文	8 佐東 幸治	9 渡邊 史	議長 鎌上 徹
議第30号	令和7年度中山町一般会計補正予算(第10号)についての専決処分の承認について 地方消費税交付金および特別交付税額の確定に伴い、歳入歳出予算総額に変更はないが、予算の組み替えを行うため、一般会計予算の補正が急きょ必要となり、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
31号	中山町町税条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について 地方税法等の一部改正に伴い、急きょ施行を必要としたため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの 主な改正内容は、軽自動車税環境性能割の廃止に伴う軽自動車税の名称変更、住宅借入金等特別税額控除の適用期間延長、経過措置期間を設けた固定資産税の免税点引き上げなどを行うもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
32号	中山町介護保険条例の一部を改正する条例の制定についての専決処分の承認について 介護保険法施行令の一部改正に伴い、急きょ施行を必要としたため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき専決処分したもの 主な改正内容は、介護保険料算定において、税制改正の影響により、令和8年度の住民税が課税とみなされ、保険料が上昇する場合に、令和8年度の保険料を軽減できるようにするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
33号	令和8年度中山町一般会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算それぞれ7970万円増額し、総額を62億7970万円とする (⇒詳細は5ページ参照)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
34号	令和8年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算それぞれ1万円増額し、総額を12億5963万1000円とする 制度周知用のリーフレット印刷を委託する費用を増額するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
35号	令和8年度中山町介護保険特別会計補正予算(第1号)について 歳入歳出予算それぞれ55万円増額し、総額を13億7554万2000円とする 制度改正に伴い、介護保険のシステム改修を実施するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
36号	中山町公共施設再配置計画基本構想の策定について 新たな公共施設整備の基準となる基本理念、基本方針及び整備方針を策定するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
37号	中山町公共施設再配置特別委員会の設置に関する決議について (⇒詳細は12ページ参照)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
38号	財産の取得について 取得する財産：除雪ドーザ11トン級 1台 700万円を超える財産の取得に該当するため、議会の議決を必要とするもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
請願受理番号第1号	核兵器禁止条約(TPNW)への日本政府の署名と批准を求める意見提出に関する請願書 核兵器の開発、保有、使用及びその威嚇を包括的に禁止し、被爆者支援や環境回復を含め、核兵器のない世界を目指し、日本政府に対して本条約への署名・批准を求める意見書を国に提出されるよう請願するもの (⇒詳細は6ページ参照)	○	●	●	○	●	●	●	退	○	*

※注：議長は採決に加わりません。

請願と陳情

6月定例会に請願1件および陳情2件が提出されました。

請願

核兵器禁止条約（TPNW）への日本政府の署名と批准を求める意見提出に関する請願書

受理年月日：令和8年5月28日

請願者：世界から核兵器をなくす県民の会 共同代表 遠藤学、中島幸裕

紹介議員：渡邊 史 付託委員会：総務文教常任委員会

【請願の要旨】

この条約は、核兵器の開発、保有、使用及びその威嚇を包括的に禁止し、被爆者支援や環境回復を含め、核兵器のない世界を目指すものであり、99の国と地域が署名し、74の国と地域が批准している。世界唯一の戦争被爆国として、日本政府に対し本条約への署名・批准を求める意見書を国に提出されるよう請願するもの。

【審査の経過および結果】

6月10日に総務文教常任委員会が開かれ、上記請願について審査が行われました。その結果、不採択とすることに決定しました。6月12日の本会議において、委員長の審査結果報告の後、採決の結果、賛成少数で不採択となりました。



質疑

渡邊 史議員

委員長報告について、紹介議員として質問します。趣旨に沿いがたいという理由について、どの部分が趣旨に沿いがたいのか、審査の経過を教えてください。

田宮総務文教常任委員長

賛成意見としては、町が平和都市宣言していることや県内25市町村において意見書が提出されていることも踏まえ、国際情勢等厳しいことはわかっているが、住民の総意として、核兵器のない世界を望むことに賛成との意見がありました。反対意見としては、日本の国民を守るには、今

討論

賛成 渡邊 史議員

唯一の戦争被爆国である日本が未だ署名していないなか、中山町が昭和62年に議決した「平和都市宣言」で掲げる「世界から核兵器の絶滅を強く訴える」という姿勢に改めて立ち返るべきです。また、被爆者の「二度と同じ過ちをしないで、核兵器のない平和な世界に」という切実な願いを受け止め、戦争を知らない子どもたちと同じ思いをさせないためにも、町の宣言と整

賛成 野田慎一議員

核兵器は広範囲を無差別に殺傷する大量破壊兵器であり、廃絶すべきものです。特にロシアによるウクライナ侵攻では核兵器の使用を示唆するなど、抑止力の範囲を超え、より

合し被爆者の願いに寄り添う本請願に賛成します。

反対 渡辺博文議員

日本は32年前から、核兵器廃絶決議案を国連に提出しており、2025年には147か国から賛同を得ております。なぜこちらをなしにして、核兵器禁止条約に署名するのか、この説明についてきちんと納得できるものがないければ、私は反対します。

上記請願に対する質疑と討論

使用される脅威が高まっています。このタイミングで日本政府に対し、核兵器禁止条約への署名を求め、核兵器廃絶に向けた意思を明確にすべきと考え賛成します。

反対 田宮昌幸議員

この条約は、核兵器の使用だけでなく、威嚇も禁じる内容の国際条約です。現在日本はアメリカの核の傘による核抑止力に守られているのが現状です。また、世界のパワーバランスが激変するなか、条約を批准するよりも、周辺諸国との友好関係を構築することがまず優先だと思えますので、今回は反対します。

賛成 村山 隆議員

現在の国際状況における核の在り方が、大変微妙な関係にあることは熟知しています。

反対 佐東幸治議員

私は核兵器には反対しますが、核開発に対しては賛成し進めていただきたいなと思っています。その中で、世の中には答えが出ないものがたくさんあると思います。ここで白黒はつきりつけるというふうなことであれば、私はここで退席させていただきます。

陳情

- mRNA ワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書
- 公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情

※陳情については、議員への配付のみとしています。



請願とは、議会を通じて国、県、町に要望等を述べることです。その権利は憲法によって定められており、**日本国内に在住する方であれば誰でも提出することができます。**

議会に請願書を提出する際は、1人以上の紹介議員の署名（または記名押印）が必要となります。内容が妥当と認められるものは採択され、議会から町長等その他関係機関に実現の要望をしたり意見等を提出したりします。また、請願については、提出者へ結果を通知します。

- 【対象事項】
1. 国、地方公共団体等の公権力の行使によって受けた損害の救済
 2. 公務員の罷免
 3. 法律をはじめ政令、省令、訓令、職務命令、各種規制をはじめ地方公共団体の条例、規則の制定、改廃のほか、国、地方公共団体の事務に関する全ての事項

陳情とは、請願と同じく議会を通じて国、県、町に要望等を述べるのですが、大きく違うのは町議会議員の紹介を必要としないことと法律上の定めがないことです。

また、陳情は原則としてその写しを全議員に配付するのみの取り扱いとなります。なお、陳情については提出者への結果通知は行いません。

一般質問

ここが聞きたい！

町政を問う

一般質問とは、議員が町の事務・事業の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員が問いたすものです。

質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。中山町議会では、質問時間は答弁と合わせて40分以内としています。

2人の議員が一般質問

6月定例会では、2人の議員が一般質問を行い、将来の町政について活発な議論を展開しました。

質問者（発言順）

渡邊 史 議員（9ページ）

- 環境保全・再生可能エネルギー施策の具体化を

夢田 慎二 議員（10ページ）

- 選挙公報をインターネットで公開できないか



わたなべ ふみ
渡邊 史 議員

環境保全・再生可能エネルギー 施策の具体化を

町長 町の特徴を生かした施策でゼロカーボンシティ表明へ

※ゼロカーボンシティとは、地球温暖化を防ぐため、2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を、吸収量と差し引きで実質ゼロにすることを目指すと表明した自治体のこと。

問 第6次中山町総合発展計画後期5か年基本計画では、地球温暖化対策と再生可能エネルギー導入促進が重点施策に掲げられた。一方、第3次地球温暖化対策実行計画のCO₂削減目標は、令和9年度に令和4年度比6%にとどまり、国の46%削減目標と大きな差がある。また、県内25市町村がゼロカーボンシティを表明済みだが、当町は未表明である。CO₂排出量実績と計画の進捗、見直しと目標引き上げの考え、表明への見解を伺う。

町長 実行計画における6%は「事務事業編」で、国の46%は森林吸収等を含む「区域施策編」であり、比較対象が異なる。事務事業では約70%を電気使用が占めており、施設の増減がなく排出量も横ばいのため、実績把握はしていない。令和9年度の次期計画策定時に直近実績値を算定し目標を設定する。ゼロカーボンシティ表明は、他市町との連携や町の特徴を生かした施策を盛り込んだ上で行いたい。

問 同じ「事務事業編」でも県内他市町村より目標が低すぎるのでは。また、公共施設内の取り組みには限界があり、町民を巻き込む施策が必要ではないか。職員数が限られる中、脱炭素まちづくりアドバイザーやGXアドバイザー、グリーン専

門人材派遣など、国の人材支援制度を活用して、町民への啓発や公共施設再配置計画に取り組んではどうか。

住民税務課長 次期計画では公共施設再配置等も踏まえ、現実に即した目標値・目標年度を検討する。現在、町民向けに太陽光発電に加え蓄電池も補助対象としており、今後も、補助によるバックアップを続けていく。啓発策は他市町を参考に研究する。人材支援制度は、財源や組織運営上の位置づけを含め、研究対象とする。

問 公共施設再配置計画は、将来コストとCO₂排出を同時に減らす機会である。断熱改修や高効率設備、太陽光発電など再エネ導入の視点をどう組み込むか。光熱費やCO₂排

出量まで含めて評価する考えは。

町長 事業単位の基本構想・基本計画段階で省エネ化・再エネ導入の費用対効果を踏まえ総合的に検討する。ランニングコストや環境負荷も重要な視点として配慮する。既存施設も長寿命化・脱炭素化の視点で対応する。

問 「おらつてにいがた市民エネルギー協議会」を視察した。市民出資・地元事業者施工・売電収入が地域に還元される仕組みは、小規模自治体にこそ適している。市民共同発電所の立ち上げ支援や町民向け勉強会、売電収益の町内還元、公共施設の屋根貸しについて見解を伺う。

町長 気象・立地条件と費用対効果から、現時点で市民共同発電所の立ち上げは考えていない。勉強会も同様だが、町民や民間企業から提案があれば対応を検討する。電力の地産地消は全国の動向を調査する。屋根貸しは創エネ設備設置を前提に、余地があれば判断する。

私の思い エネルギー問題は地球温暖化対策であると同時に、家計と地域経済を守り、災害にも強い町をつくる取り組みである。「負担」ではなく「意識の変革」として捉え直したい。4月22日は世界共通のアースデイ。県内にも環境活動を発信する人々がいる。ぜひつながり、後期計画の基本目標「自然環境と共生した安全に生活できるまち」の実現につなげていきたい。

議会はどんなことをしているの？ 議会活動報告

議会ダイアリー

※【 】内は参加者 ※議会全体の主な動きを抜粋して掲載しています。

●4月（前号掲載以降）

- 18日 県駅伝競走大会天童東村山チーム結団式【議長】
- 19日 春季消防演習【議員】
- 20日 中山町更生保護女性会総会【議長】
- 29日 県駅伝競走大会天童東村山チーム報告会【議長】



春季消防演習

●5月

- 13日 村山地方町村議会議長会定例総会【議長】
- 15日 県および市町村長・議長会議【議長】
- 17日 中山総合スポーツクラブ定期総会【議長】
- 22日 中山町商工会総代会【副議長】
- 25日 全員協議会【議員】
議員懇談会【議員】
- 26日 中山町遺族会総会【厚生産業常任委員長】
- 26日 町村議会議長・副議長全国研修会【正副議長】
⇒関連記事 P 13
- 28日 長崎小学校、豊田小学校 運動会【各地区の議員】
- 29日 議会運営委員会【委員、正副議長】
- 31日 中山町芸術文化協会総会【議長】
- 5月中 議会広報常任委員会（2回）【委員】

●6月

- 1日 中山町川向金比羅樽流し【議長】
県町村議会議長会臨時総会【議長】
- 6日 青少年育成町民会議常任委員会【議長】
- 10日～12日 町議会6月定例会【議員】
⇒関連記事 P 4～10
- 10日、12日 全員協議会【議員】
- 10日 総務文教常任委員会【委員、議長】
- 12日 公共施設再配置特別委員会【委員、議長】
⇒関連記事 P 12
- 12日 議会活性化特別委員会第1・第2小委員会【委員】
- 18日 中山町老人クラブ連合会総会【議長】
- 6月中 議会広報常任委員会（4回）【委員】



豊田小学校運動会



川向金比羅樽流し ⇒関連記事
議会だより第34号 P 20

みんなの議会 傍聴しませんか

次回の定例会は **9月3日(木)～11日(金)** の予定です。
お気軽にお越しください。

お問い合わせ：中山町議会事務局 TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538

選挙公報をインターネットで公開できないか



た だ し ん じ
多田 慎二 議員

選挙管理委員長 公開に向けて準備を進めていきたい

問 スケジュール的にどの選挙になるのか。また、期日前投票が増えていることから、できるだけ早く公開することが望ましいと思うかどうか。

選挙管理委員長 選挙公報のインターネットでの公開やポスター掲示板への二次元コードの掲載は法的に可能である。全国の自治体でも行われていることから、実施に向けて準備を進めていきたい。

問 選挙の際に配布される選挙公報は、有権者が候補者の情報を得る重要な手段である。紙での配布に加え、インターネットでの公開ができないか。併せて、ポスター掲示板に選挙情報や選挙公報にアクセスできる二次元コードを掲載してはどうか。

選挙管理委員長 導入するには、選挙当日、「共通投票所」で投票した方による、指定された投票所での二重投票を避けるため、すべての投票所をリアルタイムで一元管理する必要がある。機器導入や回線費用、システム構築料が新たに発生すること、通信障害や機器トラブルにより二重投票や投票停止のリスクがあるなど、まだまだ課題が多い。

選挙管理委員長 導入する際には、選挙当日、「共通投票所」で投票した方による、指定された投票所での二重投票を避けるため、すべての投票所をリアルタイムで一元管理する必要がある。機器導入や回線費用、システム構築料が新たに発生すること、通信障害や機器トラブルにより二重投票や投票停止のリスクがあるなど、まだまだ課題が多い。

問 商業施設など、日常的に利用する場所に共通投票所を設けてはどうか。

選挙管理委員会書記長 可能であれば来年1月の町長選挙から公開したいと考えている。公開のタイミングについては具体的には答えられないが、紙よりは早くできるようにしたい。

選挙管理委員長 投票所に設置する専用機器の大量導入やセキュリティ対策が必要であり、導入や維持コストの高さが課題となっている。

選挙管理委員長 投票所に設置する専用機器の大量導入やセキュリティ対策が必要であり、導入や維持コストの高さが課題となっている。

問 開票結果について、小差や同数により再点検する事例が報道されている。小さな町にとって開票作業の人的負担も大きい。電子投票を導入した自治体では無効票が大幅に減少したほか、開票に関わる職員数の削減や時間の短縮などの成果が出ている。また、文字が書きにくい人や子どもを抱ったままの人でも投票しやすいなどのメリットもある。電子投票の将来的な導入に向けて検討してはどうか。

選挙管理委員会書記長 文字が書けない方は代理投票など事務従事者が対応している。

選挙管理委員会書記長 文字が書けない方は代理投票など事務従事者が対応している。



候補者を選択するだけでできる電子投票

私の思い 選挙は民主主義の根幹であり、議会・選挙管理委員会など役割は異なるが、みんなで協力しながら誰もが参加しやすい選挙に向けて取り組んでいきたい。

それ以外のサポートが必要な方には、投票所のできることをケースバイケースで対応している。

地方（行政・議会）は生き残れるか

令和8年度 町村議会議長・副議長全国研修会

5月26日、東京国際フォーラムで開催されたこの研修会は、全国町村議会議長会の主催で、毎年開催されており、山形県内すべての町村議会から、議長・副議長が参加しました。当町からは鎌上議長、村山副議長の2名が参加しました。内容は以下のとおりです。

●演題1.「地方創生の先行き ～地域未来戦略とともに～」

一般財団法人地域活性化センター理事長 ^{はやしざき おさむ} 林崎 理 氏

自治体では、社会インフラの老朽化が進んでいます。また、人口減少により職員確保も困難となり、DX化や生成AIの活用が必要となっています。さらにコロナ禍を経て、価値観や社会環境の変化は東京一極集中から、地方への移住・定住・関係人口増加へと舵をきろうとしています。今こそ地方の時代、地方創生のチャンスであることを再認識しました。

●演題2.「人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践」

東海大学教養学部人間環境学科教授 ^{まんじょうめ まさお} 万城目 正雄 氏

令和9年4月から運用される「育成就労制度」を前に、現状の外国人雇用の実態と今後の展開について解説がありました。また「多文化社会の共創」を目指し、国・自治体・事業者・地域社会がスクラムを組むことが重要であることを学びました。

●演題3.「男女共同参画で地域を元気に ～人口減少社会を生き抜く方策～」

京都女子大学学長 ^{たけやす ひでこ} 竹安 栄子 氏

「ジェンダー」そのものの考え方や、日本のジェンダー格差の現状が紹介されました。世界経済フォーラムが発表したジェンダーギャップ指数によれば、2025年の政治領域における日本の指数は、世界148か国中、125位と低位となっているということです。総務省の「令和5年統一地方選挙の概要」によると、各議会の女性議員の比率は、道府県議選14.6%、指定市議選22.9%、市議選19.1%、特別区議選36.2%、町村議選13.6%となっていますが、当選率に関しては、女性のほうが高いという結果が出ているとのことでした。



全国から町村議会の議長・副議長が参加しました

●演題4.「女性模擬議会の取り組み」

宮城県蔵王町議会議員 ^{ふじさわ まいこ} 藤澤 麻衣子 氏、^{こん ちか} 今 千佳 氏、^{いとう まさよ} 伊藤 雅代 氏

演題3に引き続き、竹安栄子氏を司会進行役に進められました。この演題では、蔵王町は町制施行後69年間、女性議員が「ゼロ」でしたが、多様な住民の声を反映させる議会のあり方に対する危機感から、令和5年7月10日に、初めて「女性模擬議会」が開催されました。30代から70代の女性7名が参加し、女性目線の町政について話し合いが行われました。その後、令和6年3月の改選で3名の女性議員が誕生し、その3名からそれぞれの経験を聞くことができる貴重な場となりました。

国の地方創生に取り組む事例や人材不足の時代における外国人材への取り組み、女性活躍時代の議会のあり方など、現代の地方社会・行政・議会の課題解決に向けた講演であり、大変勉強になりました。

公共施設再配置特別委員会を議会で設置

6月12日、新たな公共施設を建設する場所、規模、機能に関する調査を行うため、公共施設再配置特別委員会を設置しました。

これまで町民と町職員のワークショップやパブリックコメント等を行い進めてきた中山町公共施設再配置計画基本構想が、6月定例会において議案として提出され、可決されました。今後は、小・中学校を統合した施設一体型義務教育学校開設の検討も含め、より具体的に進めていく公共施設建設に対し、調査・研究を行うこととします。

委員長を村山隆議員、副委員長を佐東幸治議員とし、議長を除く9名の議員で構成されます。

また、広報なかやま7月号に中山町公共施設再配置計画基本構想について掲載されています。



公共施設再配置で大きな課題となる役場庁舎(上段)と中央公民館(下段)

町のこれまでの取り組みは
公式HPから▶



予告

夏休みは「ぎかい」を学ぼう！

～こども議会講座をひらきます～

中山町議会では、子どもたちに議会や議員を身近に感じてもらうため、夏休みにこども向けの講座を開きます。

昨年度つくった子ども向け議会のしおり「^{まちぎかい}町議会ってなあに？」を使いながら、議会のしくみや議員の仕事を、わかりやすく楽しく学べる内容です。夏休みの自由研究や宿題のヒントになるかも？ ぜひお気軽にご参加ください。

開催のご案内

項目	内 容
日 時	8月1日(土) 10:30～11:10
会 場	町立図書館「ほんわ館」多目的室
対 象	小学3年生～中学生・保護者
参加費	無料
申 込	中山町議会事務局 (☎662-4370) もしくは二次元コードから▶ 締め切り 7月27日(月)



議会ってなに？

議員って
どんなお仕事？

子どもたちの「知りたい！」にお答えします。



スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま

楽しい仲間たち

明るい 豊かなまちづくりを目指して

No.11

中山町商工会青年部

中山町商工会青年部では、地域の活性化と魅力あるまちづくりを目指し、年間を通してさまざまな活動を行っています。

6月10日には地域貢献活動の一環として、中山町内の清掃活動を実施しました。青年部員が協力しながら町内各所のゴミ拾いを行い、日頃お世話になっている地域への感謝の気持ちを形にするとともに、改めて中山町の豊かな自然や住みよい環境の大切さを実感する機会となりました。今後も地域の一員として、環境美化活動や奉仕活動に積極的に取り組んでいきます。

また、7月20日に開催される全国かぶと虫相撲大会では、商工会青年部主催による「すもものしずくマルシェ」を開催します。マル

連載シリーズ「楽しい仲間たち」は、町内で活躍・活動しているさまざまなサークル、ボランティア団体を紹介しています。



遊びに来てほしいですもも〜

シェでは、地域の事業者や出店者の皆さまのご協力のもと、飲食や物販などを通して中山町の魅力を発信し、ご来場の皆さまに楽しんでいた

だけの場を提供します。大会とあわせて、ぜひマルシェにもお立ち寄りください。

さらに、10月に開催される「元祖“全国”芋煮会in中山2026」においても、「すもものしずくマルシェ」の開催を予定しています。中山町を訪れる多くの方に地域の魅力や人とのつながりを感じていただけるよう、青年部

一同準備を進めています。

私たちは、これからも地域に根差した活動を大切にしながら、にぎわいの創出と地域振興に取り組んでいきます。今後とも皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いします。



2班に分かれてゴミ拾いをしました



中山町商工会青年部

部長：東海林 大陸
（とうかいりん まさちか）

部員数：26名

問い合わせ先：事務局 ☎023-662-2207(中山町商工会内)

なかがやま 議会だより No.38

発行日：令和8年7月15日
発行：中山町議会
発行責任者：議長 鎌上 徹

〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地
TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538
E-mail:gikai@town.nakayama.yamagata.jp
印刷：大場印刷株式会社

録画配信は
こちらから

町公式HP

過去の議会だよりは
こちらから

町公式HP

SideBooks
アプリ

【議会広報常任委員会】委員長：多田慎二 副委員長：渡邊史 委員：村山隆 田宮昌幸 佐東幸治

皆さまのご意見、ご感想など、お寄せください。次回第39号の発行は11月1日です。